

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2303142	博物館教育論 Museum Education	松村 淳子	専門	2	選択	3年 後期

科目の概要

博物館における教育活動の理念や実践に関する知識や方法を学び、博物館の教育的な機能に関する基礎的な知識と能力を養う。博物館における教育活動の理念や歴史的変遷について理解し、現代の博物館に置いて実施されているさまざまな教育活動の手法についてそれぞれの特徴や意義、方法を学ぶ。講義中1日を現場見学とし、博物館で実際に行われている教育活動の手法について学ぶ。

学修内容	到達目標
① 博物館の教育普及活動の役割や意義について学ぶ。	① 博物館の教育普及活動の役割や意義について理解することができる。
② 博物館における教育活動の理念や歴史的変遷について理解する。	② 博物館における教育活動の理念や歴史的変遷について理解することができる。
③ 博物館における教育普及活動の手法について実際の活動から学ぶ。	③ 博物館における教育普及活動の手法について実際の活動を学び、現在の博物館が行っている教育活動の特徴や手法について検証することができる。
④ 博物館の教育理論について学ぶ。	④ 博物館の教育理論について各理論の考え方や、特徴や違いについて理解することができる。
⑤ 博物館における教育活動の手法を実践する。	⑤ 博物館における教育活動の一端を経験し、その意義と可能性を探究することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題内容に関わる事柄について授業内外において、必要な文献や資料などを見つけて自ら探求することができる。
	働きかけ力	
	実行力	授業以外の時間を使い、課題について調べたことを自分で記述することができる。
考え抜く力	課題発見力	授業内外で得た情報について、事実に基づいて客観的な整理をし、課題を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	自ら見つけた課題に対し、多角的な視点で解決案を提案することができる。
チームで働く力	発信力	自ら調査、検討した事柄について順序を整理して、工夫された発表をすることができる。
	傾聴力	自分と違う意見に対しても、異なる価値観や意見を尊重し、さらに自分の意見を述べるることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、グループワークを尊重した態度をとることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:使用しない、毎回プリントを配布。

参考文献:講義内で随時紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:その他の博物館学芸員資格に必要な科目と関連している。

資格との関連:博物館学芸員

学修上の助言	受講生とのルール
可能な範囲で博物館、美術館へでかけること。 毎回講義の内容に関する資料を配布するので講義内容の復習に利用すること。複数回小発表を課すので発表できるように準備をすること。	講義中は、携帯電話、タブレットはマナーモードにしてカバンにしまうこと。 当日欠席により課題提出が遅れる場合は、事前連絡があった場合のみ事前事後に受付けます。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		① ②	
小テスト	8	① ② ③ ④ ⑤	①②③④複数回出題される小テストの提出(穴埋め問題を中心に出题し、講義内容を理解できているか確認する。範囲は各時点までの講義で学習した内容とする。)(1点×8回)
レポート	36	① ② ③ ④ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義内容に関するテーマで出題される小レポートの提出(2点×15回) ②③複数回出題される発表内容のメモを提出。(1点×4回)(実行力、課題発見力) ③現場見学から学んだ事柄についてまとめたレポートの提出。(3点) ⑤成果発表に関するテーマで出題されるレポートの提出(2点×2回) ・15週目が終了した段階で出題されるテーマに関するレポートの提出(10点×1回)
成果発表 (口頭・実技)	36	① ② ③ ④ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ②③複数回出題される課題に関して調査したことについて発表を行う。(5点×2回)(実行力、課題発見力、発信力) ③⑤7週目、8週目の内容について理解度を確認するため成果発表を行う。(主体性、創造力、発信力、傾聴力)(5点×2回) ⑤11～14週の内容について理解度を確認するため成果発表を行う。(主体性、創造力、発信力、傾聴力)(10点) ③⑤発表内容に関して客観的に整理して自分の考えを述べ、グループ討議に参加することができる。(4点)(傾聴力)
作品	10	① ② ③ ④ ⑤	③⑤成果発表において利用者の側に立って利便性や効果を考慮したツール等のプランを提出(5点×2回)
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ② ③ ④ ⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・受講態度(遅刻、欠席、学修意欲欠如)が見られる場合は5点を減点する。(規律性) ・課題やその他について事前連絡がなく未提出が見られる場合は5点を減点する。(規律性) ・受講にあたり積極的な参加姿勢と発言が見られる。(発信力、傾聴力) ・講義内容からさらなる疑問、興味を自ら発見し、そのことを講義に還元することができる。(実行力、課題発見力、発信力) ・講義内容を受けて、そのなかで発見された課題について自ら解決策等を検討することができる。(創造力)
その他		① ②	
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 博物館の教育普及活動の役割や意義について説明することができる。 ② 博物館における教育活動の理念や歴史的変遷について説明することができる。 ③ 博物館における教育普及活動の手法について実際の活動を学び、現在の博物館が行っている教育活動の特徴や手法について検証することができる。 ④ 博物館の教育理論について説明することができる。 ⑤ 博物館における教育活動についての意義と可能性について意見を述べるすることができる。 <p>上記に加えて、以下の項目が達成できた場合レベル S(秀)とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 博物館における教育活動について、現在の問題を考慮して独自の展望を語るすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 博物館の教育普及活動の役割や意義について理解することができる。 ② 博物館における教育活動の理念や歴史的変遷について理解することができる。 ③ 博物館における教育普及活動の手法について実際の活動を学び、現在の博物館が行っている教育活動の特徴や手法について理解することができる。 ④ 博物館の教育理論について理解することができる。 ⑤ 博物館における教育活動についての意義と可能性について探求することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「博物館教育とは」 博物館における教育活動の詳細を学ぶにあたり、概略について理解する。	講義 ディスカッション	博物館における教育活動の詳細を学ぶにあたり、概略について理解することができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 発信力 傾聴力
2週 /	「博物館教育の歴史①アメリカ、ヨーロッパ」 博物館教育が盛んな欧米においてその歴史的な背景と理念の変遷について理解し、日本への影響について知る。 ※小発表：自分が興味のある欧米の博物館が行っている教育活動について紹介する。	小発表 講義	欧米における博物館教育の歴史的な背景と理念の変遷について理解し、日本への影響について知ることができる。	予習：発表内容を用意する。 講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発 見力 発信力 傾聴力
3週 /	「博物館教育の歴史②日本」 日本における博物館教育の歴史を知り、現代における課題を検証する。 ※小発表：自分が興味のある日本の博物館が行っている教育活動について紹介する。	小発表 講義	日本における博物館教育の歴史を知り、現代における課題を検証することができる。	予習：発表内容を用意する。 講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発 見力 発信力 傾聴力
4週 /	「博物館教育の理論について①」 博物館教育における理論について学ぶ。	講義 小テスト	博物館教育における理論について知ることができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力
5週 /	「博物館教育の理論について②」 博物館教育における理論について学ぶ。	講義 小テスト	博物館教育における理論について知ることができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力
6週 /	「生涯学習機関としての博物館と、博物館教育の種類」 生涯学習の見地から見る博物館活動と、実際に行われている教育活動の種類について知る。	講義 小テスト	生涯学習の見地から見る博物館活動と、実際に行われている教育活動の種類について知ることができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力
7週 /	「博物館教育活動の詳細①」 実際に行われている博物館教育の事例から、展示、展示補助教材、ギャラリートークについて知る。 ※鑑賞ツールのプランを考えて発表する。	講義 小発表 小テスト	実際に行われている博物館教育の事例から、展示、展示補助教材、ギャラリートークについて知ることができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 創造力 発信力
8週 /	「博物館教育活動の詳細②」 実際に行われている博物館教育の事例から、ワークシート、セルフガイド、ワークショップについて知る。 ※ワークシート・セルフガイドのプランを考えて発表する。	講義 小発表 小テスト	実際に行われている博物館教育の事例から、ワークシート、セルフガイド、ワークショップについて知る。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 創造力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	「博物館教育の実際:現場見学」 博物館で実施される教育活動について実際の現場を見学し学ぶ。	見学	博物館で実施される教育活動について実際の現場を通して知ることができる。	レポート作成 予習:発表内容を用意する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
10週 /	「博物館教育の実際、学校教育との連携」 博物館における学校教育との連携について知る。 ※現場見学のレポートを発表する。	小発表 講義 ディスカッション 小テスト	博物館における学校教育との連携について知ることができる。	講義レジュメ、ノートを復習する。 小レポートを作成する。	180	主体性 発信力 傾聴力
11週 /	「博物館教育の実際」 講義内で学修した手法から選択された方法を用いて、グループで実践プランを作成する。	グループ討議 小テスト	実践プランをグループで検討することができる。	テーマ、対象資料の検証をする。	180	主体性 創造力 傾聴力
12週 /	「博物館教育の実際」 講義内で学修した手法から選択された方法を用いて、グループで実践プランを作成する。	グループ討議	実践プランをグループで検討することができる。	実践の練習をする。	180	主体性 創造力 傾聴力
13週 /	「博物館教育の実際」 講義内で学修した手法から選択された方法を用いて、グループで実践プランを作成する。	グループ討議	実践プランをグループで検討することができる。	実践の練習をする。	180	主体性 創造力 傾聴力
14週 /	「博物館教育の実際」 講義内で学修した手法から選択された方法を用いて、グループで作成した実践プランに基づいて実践する。	グループ討議 発表 ディスカッション	実践プランをグループで発表することができる。	レポート作成。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力
15週 /	「博物館教育のこれから」 博物館で試みられている新しい取り組みや手法、博物館外で行われている活動について知り、これからの博物館活動について考察する。	講義 ディスカッション	博物館で試みられている新しい取り組みや手法、博物館外で行われている活動について知り、これからの博物館活動について考察することができる。	講義レジュメ、ノートを復習する。 レポートの作成。	180	主体性 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力